



けやきっ子

六栄小学校だより
第20号
令和6年10月25日
文責：久保田 真二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

「夢の教室」・フェンシング徳南堅太さん

10月23日(水)に「夢の教室」がありました。毎年、5年生を対象に実施されている事業ですが、今年度は、2016年リオオリンピックと2021年東京オリンピックに出場されたフェンシングの徳南堅太さんが夢先生として来校され、5年生に授業をしていただきました。

徳南堅太さんは、高校生の時にフェンシングに出会い、2度のオリンピック出場を果たされました。自己のこれまでの人生を振り返りながら、「夢」について話をしてくださいました。小学校・中学校・高校時代はぼんやりとした夢を持っていたけれど、大学の頃にフェンシングの先輩との出会いで2012年ロンドンオリンピックを目指す夢を持ったこと。しかし、もう少しのところでオリンピック出場は果たせずに「挫折」を味わったこと。「挫折」を乗り越えるために、自らの「環境を変えた」こと。そして、2016年リオオリンピックに出場した後、今度は、足を大けがしたこと。それでも、ケガを乗り越え2020年東京オリンピックを目指したのだけれど、新型コロナウイルスのためにオリンピックが延期されたこと。しかし、2021年東京オリンピックに出場したこと。そして、今年の10月10日に「フェンシングはやり切った。」と自分の「納得」があって現役引退をしたことなど、詳しく話をしてくださいました。徳南さんは、今できることを一生懸命に取り組んだり、自分が好きなことをとことん取り組んだりしていれば夢が見つかることを教えてくださいました。また、周りの人がどう思っても、自分が納得するまで取り組んで、次の夢に向かって取り組んでいくことの大切さを教えてくださいました。



授業の中で、子どもたちに「好きなことはありますか?」、「今、どんな夢をもっていますか?」と質問されたのですが、「プロ野球選手になってオリンピックで活躍したい」「プロサッカー選手になりたい」「ゲームが大好き」「そろばんが好き」「魚釣りが好き」「プラモデルを作るのが好き」など、子どもたちはたくさん夢や好きなことを語ってくれました。これからの未来を生きていく5年生の子どもたちが夢にむかって自分の人生を切り開いてくれるきっかけになりました。徳南堅太さん、ありがとうございました。

あいさつはみんなを元気にする言葉!

先日、体育館前の門で、子どもたちにあいさつをしていると、地域のおばあさんが話しかけてこられました。おばあさんによると、おばあさんには子どもさんはおられるのだそうですが、まだ結婚されずに孫がいないということでした。孫がいなくて寂しいけれど、六栄小学校の子どもたちの元気なあいさつを聞くと嬉しくて元気が出ます、ということでした。子どもたちの元気なあいさつが、地域のおばあちゃんの元気になっていることを直接聞いて嬉しく思いました。

子どもたちの元気なあいさつが、これからも学校だけでなく、地域のみなさまにも元気を与えてくれることを期待しています。



六栄小学校の子どもたちから元気なあいさつをしてもうれしくなるんですよ。



実りの秋! 5年生が稲刈りをしました。

自転車の乗り方に注意して!

先日、山梨県の小学生が自転車に乗っていて、軽自動車と衝突し死亡するという心痛むニュースを見ました。最近は、日暮れの時間も早くなりました。どんなに注意して自転車を運転していても、交通事故になる場合もあります。放課後に子どもたちが自転車に乗って遊びに行く姿を見かけますが、くれぐれも交通事故に遭わないように各家庭でも十分にご指導お願いします。また、後期からは夕方5時までには家に帰りつように指導しています。あわせて、帰宅時間についてもご指導お願いします。

毎月17日は「ながす交通安全の日」です。